

2020年度 魚住まちづくり協議会 事業報告



主要3大行事)

- 9/19 敬老会対象者 1,662名(年々増加)
学校でのイベントは中止、自治会経由で祝いの品を配布
- 10/3 うおすみ祭り 中止
- 1/16 左義長 中止(緊急事態宣言発令のため)

会議等)

- ・役員会 4、5月は中止 他は毎月実施 計10回
- ・自治会連絡会 4、5月及び年末年始中止 計7回
- ・子ども見守り交流会 2回実施 次年度も継続予定

主要全体事業) 事務局中心に

- ・「くすのん」着ぐるみ 完成 → 幼小最後の行事にお披露目
ファイルを作成し、幼小子どもたちに配布
- ・喫茶くすのき 新メンバー4人加入
しかし、コロナの影響で約2ヶ月だけのオープン
- ・みんなdeごはんは中止
- ・みんなde勉強は18回実施、最後に3/31にお別れ会を開催
- ・新規事業「みんなde菜園」12月スタート 12組の家族会員が応募
今年度は途中なので準備や体験だけ、次年度から本格的に活動
- ・県民交流広場10年助成金を活用し、看板、PCや備品を購入
- ・広報力強化のため、独自のHP開設、LINEアカウントも週1回定期配信
- ・コミュニティスクールの一環で学校との連携強化
3年生: 自然環境学習(森の探偵団を引き継ぎ)
5年生: 防災出前授業
6年生: 「まちの幸福論」授業でワークショップ、出前授業実施

校区防災事業) 企画運営グループ「共助de17」で11回会議を行う

- ・校区防災計画 感染対策の箇所を追記
- ・共助de17(専門家も入れた運営グループ)11回会議開催
- ・避難所・開設運営訓練
3月7日 避難者自身による開設前の準備訓練実施 参加者:総勢約30名
「避難所に来られたあなたへ」カードの内容について検証
- ・3月7日、浜西自治会の要支援者対策訓練の見学
自治会全体で安否確認カードを出す訓練 要支援者3名参加

事務局体制)

コミセン施設管理を受託してから事務局 7 人体制で対応し 2 年が経過、それぞれ業務を分担し協力しながらスムーズに動けるようになってきた。

各部会報告)

• 健康・福祉部会

きずなサロンと元気アップ体操は新型コロナウイルスの拡大に大きく影響され、月 1 回開催予定のきずなサロンは 9 月～12 月と 3 月の計 5 回のみで開催にとどまり、また月 2 回開催予定の元気アップ体操も合計 7 回のみで開催となった。

まちなかゾーン協議会との協働による駅前健康祭りも同様に中止になった。さらに体操拠点の設置啓発活動も同じ理由で推進出来なかった。

• 安全部会

あいさつ声掛け運動とみんなで見守る活動は主に 35 名のスクールガード活動時に実施した。また青パト防犯活動については、緊急事態宣言時を除いて月 1 回同乗し校区内をパトロールした。

防犯や危険箇所点検を主活動とするみんなでウオッチングでは地元警察とも連携しながら少し成果を上げることが出来た。

情報共有や意見交換の場である 4 校区や市。県などの会議などは大半がコロナのため中止になった。

• 子ども部会 休部中

• 自然環境・歴史部会

地域の貴重な里山の自然が残る金ヶ崎公園の保全と活用で親子自然体験はコロナの影響で秋に 1 回だけ行った。またエコウイングあかし主催の活動についてもコロナ禍で半減し、参加人数も少なめの寂しい状況となった。

魚小校区内の歴史・文化の掘り起こしを目的にした看板設置はなんとか浜西神明神社 1 箇所設置出来た。

また、魚住町 4 校区で持ち回りの精霊流し当番もコロナのため無くなった。